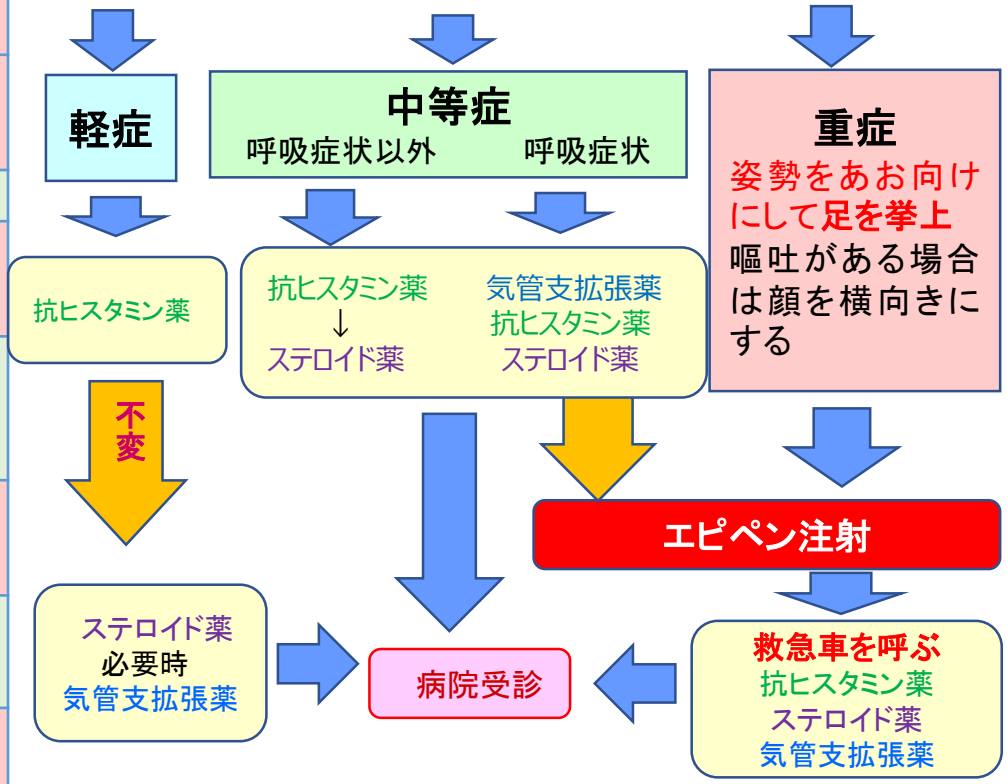
アレルギー症状の重症度評価と対処法

		軽症	中等症	重症
皮膚症状	赤み、じんましん	部分的	全身性	
	かゆみ	軽い痒み	強い痒み	
粘膜症状	口唇、眼、顔の腫れ	くちびる、まぶたの腫れ	顔全体の腫れ	
	口、のどの違和感	口・のどの痒み、違和感	のどの痛み	のどや胸が強くしめつけられる、声がかれる
消化器症状	腹痛	弱い腹痛	強い腹痛	持続する強い腹痛（我慢できない）
	嘔吐、下痢	吐き気、嘔吐・下痢（1回）	嘔吐・下痢（複数回）	繰り返す嘔吐
呼吸器症状	咳、鼻水、くしゃみ	時々咳が出る、鼻水、くしゃみ	連続する咳	犬の遠吠え様の咳
	喘鳴、呼吸困難		軽い息苦しさ	ゼーゼーする呼吸、息が苦しい
循環器症状	脈拍、血圧		顔色が悪い	脈が不規則、唇や爪が白い、紫色
神経症状	意識状態	元気がない	眠気、軽い頭痛	ぐったり、意識もうろう、失禁

※症状の重症度は一番重い臓器の症状で評価する。アナフィラキシーは1つ以上の重症症状を含む複数臓器の症状もしくは血圧低下に相当する。血圧低下は唇が白くなったり、ぐったりしたり、意識がもうろうとした状態に相当する。本表はあくまでも重症度と治療の目安であり、治療は状況によって変わりうる。

日小ア誌2010：24：39－46より一部改変して引用

症状の重症度の評価後



エピペン®が処方されている患者で、下記の症状　の1つでもあれば使用すべきである。

- 繰り返し吐き続ける
- 持続する強い（がまんできない）おなかの痛み
- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 持続する強い咳込み
- ゼーゼーする呼吸
- 息がしにくい
- 唇や爪が青白い
- 脈を触れにくい・不規則
- 意識がもうろうとしている
- ぐったりしている
- 尿や便を漏らす

作成：筑波メディカルセンター病院　小児外来

注意点：本マニュアルは一般の方に対してアレルギー症状への対応の理解を助ける目的で作成し、内容に関しては責任を負うが、個々の対応の結果に対して責任を負うものではない。